

教えてネ 地域の話題

感謝を込めて、「秋田錦牛」をペロリ!

い いただきます!。今日もお待ちかねの給食の時間が始まりました。

1月24日、この日の上新城小学校の献立のメインは県産和牛肉「秋田錦牛」を使用した「すきやき」で、牛肉は秋田県畜産農業協同組合から提供していただきました。これは、学校給食での地産地消を進めることを目的とした事業で、今回、秋田市課題研究推進校の「食育」指定校でもある同小学校で実施されました。



おいしいネ!



おかわりする?

給食に招かれた同協同組合の佐藤善美さんは、「秋田錦牛は、肉と脂身の旨み特徴です。味わって食べてください」とあいさつ。素材の良さを活かした最高の一品に、みんなの箸も進み、準備されたすきやきを残すことなくいただきました。

普段から「いのち」を身近に感じる学習に親しむ子どもたち。最後に、5年生の齊藤美由希さんの「育てた農家の人や加工してくれた人に感謝、そして、錦牛に感謝して、いのちをしつかり受け継いでいきます」との一言に続き、児童全員で声を合わせ「ありがとうございました」とお礼の言葉を元気に伝えていました。

*同じく秋田市課題研究推進校「食育」指定校である、飯島南小学校でも、同日、同じ献立が提供されました。

今冬も心強い支援の輪



1月27日、河辺地域で

➔ 秋田市建設業協会青年会のみなさん。現場では、秋田市ボランティアセンターの職員も作業にあたります

➔ 秋田市職員も、毎年、除雪ボランティアに登録しています



1月19日、雄和地域で

除雪ボランティアが各地で活躍!

1 月中旬から、秋田市内でもまとまった雪が降り出しましたが、今冬も、各地で除雪ボランティアが活躍しています。

秋田市ボランティアセンターでは、個人・団体・企業からボランティアを募り、自力で雪寄せができない高齢者宅などへ派遣し、作業を行ってもらっています。

取材に訪れた1月27日も3件の依頼があり、朝から現場に駆けつけていました。河辺地域で作業をしたのは、一般社団法人秋田市建設業協会青年会のみなさん(右上の写真)。毎年、除雪ボランティアに登録していることもあり、屋根からの積雪で、窓ガラスが割れそうな危険な箇所も手際よく雪を寄せていました。

◆ もうすぐ3月。気温も日に日に緩み雪解けは進みますが、まだまだ油断はできません。みんなで力を合わせて、引き続き、地域や町内の除雪にご協力をお願いします。